

多様性・公平さ・インクルージョン方針

Rotary Diversity, Equity, and Inclusion Policy Statement

RIにおける DEI の主張の経緯

2019年1月理事会：2018年10月理事会会合決定第31号において、理事会は事務総長に、本会合で男女平等(gender equity)に関する公式の方針声明を研究し、推奨することを要請し、国際ロータリーの多様性、公平さ(男女平等・男女共同参画)およびインクルージョン方針を承認する。

1.ロータリーは多様性を尊重し、年齢、民族性、人種、肌の色、能力、宗教、性的志向、性同一性などに拘わらず、どんなバックグラウンドの人々の貢献も称えます。

2.2023年6月までにロータリーとロータリーの指導層の女性の割合を30%にする目標を設定する。

2020年6月理事会：多様性、公平さ、インクルージョンに関する方針を決定
2020-21年度 DEI タスクフォースはDEIに関する声明を立案する。

2020年7月理事会：DEIに対する国際的な経験をもつ専門家や会社を特定し、2020年8月31日までに執行委員会に報告するよう要請する

2020年9月理事会：理事会は、ロータリーのリーダー職における多様性を推進するため、次回の推薦周期から、すべての地域リーダー職に必要なパストガバナーの資格要件を削除するとともに、国際ロータリーとゾーンの会合の講演者の60%以上を同一のジェンダーで占めないことに同意しました。

2020年11月理事会：DEI タスクフォースからの報告によりDEIの戦略を進展させるために専門的な世界的なDEI コンサルタント会社を雇うよう要請する

RI ウェブサイトの「DEI」
について記事より

Inclusion の訳は「包摂またはイン
クルージョン」に変更された。

第1弾

多様性、公平さ、開放性に関する方針

Diversity, Equity and Inclusion(DEI)



ロータリーの最優先事項は、会員基盤の成長と多様化によって地域社会をより良く反映したクラブをつくり、あらゆる文化、経験、アイデンティティの人の参加を促すことです。

ロータリーは、さまざまな人が参加できる開放的な組織、すべての人に公平で、善意を築き、社会に役だつ組織づくりに努めています。

この目標を実現するため、RI 理事会は、多様性、公平さ、開放性に関する声明を採択しました：

ロータリーは、持続可能な変化を生むために人びとが手を取りあって行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称える。

ロータリーは、少数派グループが会員およびリーダーとして参加できる機会が多く存在する多様で、公平で、開放的な文化を育む。

多様性、公平さ、開放性を最優先とすることは、会員と職員を含む全員の責務です。

クラブでできること

- [クラブの多様性調査](#)を活用し、多様性と開放性のための行動計画についてクラブで話し合う。
- 多様性、公平さ、開放性について詳しい人を招き、卓話をしてもらう。

- 多様性、公平さ、開放性を推進する地元団体に連絡し、一緒にプロジェクトやイベントを行う。
- 「少数派」の会員に対し、クラブや地区でリーダー的役割を務めることを奨励し、サポートする。
- ラーニングセンターで、多様性、公平さ、開放性について学ぶために[クラブ会員基盤の多様化](#)のコースを受講するようクラブ会員に奨励する。
- 地域社会の諮問委員会を結成し、多様な地元市民とクラブ会員にメンバーになってもらう。この委員会を通じて地域社会のニーズや価値観について学び、協力して活動する方法を模索する。

事務局での取り組み

- 理事会は、ロータリー会員基盤に占める女性会員数およびロータリーのリーダー職に就く女性会員数の目標を引き上げ、2023年までに30%とする目標を掲げました。より多くの女性が、国際協議会研修リーダー、地域リーダー、国際ロータリー委員会委員として任命されています。
- ロータリーは、共通の趣味や関心をもつ世界中の会員から成る[ロータリー親睦活動グループ](#)を引き続き支援しています。
- ロータリーは、多様性、公平さ、開放性を支える[戦略計画](#)を立てています。

(参照)RIWeb サイト：

<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/about-rotary/diversity-equity-and-inclusion>

多様性、公平さ、インクルージョンに関する コミットメント

<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/about-rotary/diversity-equity-and-inclusion>



ロータリーでは、誰であろうと、どこに住んでいようと、ロータリー歴が何年であろうと、すべての人が価値ある存在であり、尊重され、歓迎されていると感じられる環境を築きたいと考えています。ロータリーが尊重と倫理的リーダーシップ、インクルージョン（包摂）を重んじ、すべての人に公平・オープン・歓迎的な雰囲気をつくることは、すべての会員と入会候補者が求めていることでもあります。

「多様性」は、長年にわたるロータリーの中核的価値観であり、これからも私たちが互いに、そして地域社会と接する際の礎となるものです。ロータリーの組織文化がすべての側面で DEI を反映し、体現するようにするには、まだ多くのことを学び、実行しなければならないと私たちは理解しています。

理事会は、「多様性・公平さ・インクルージョン（DEI）タスクフォース」を招集し、ロータリーにおける DEI の現状を調査して達成可能・測定可能な意義ある結果をもたらす包括的な行動計画を作成することとしました。この計画は、2021年10月に理事会に提示されます。

ロータリーが組織として多様性、公平さ、インクルージョンの原則を尊重し、実践するための新たな計画の第一歩として、DEI タスクフォースの指針に基づき、2019年に採択されたロータリーの DEI 声明を見直し、それを強化する方法を取り入れました。その結果として新たな「多様性・公平さ・インクルージョン（包摂）へのコミットメント」が下記の通り採択されました：

ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ（包摂的）な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。

多様性、公平さ、インクルージョンは、政治的な問題ではありません。私たちは皆、尊厳と尊重をもって扱われ、親睦と奉仕の平等な機会、そして、発言する平等な機会を持つ権利があります。



クラブ、地区、地域社会で DEI の活動を支援する方法：

- クラブ会員と多様性について話し合い、「多様な会員が集まるクラブに」の多様性調査を用いて、会員の多様性を高め、インクルージョンを推進する行動計画を立てる。

- 誰もが尊重しあい、ロータリーの理念にそぐわない言動があれば、自分そして互いの責任を果たさなければならない。このような対話によって、意義ある変化がもたらされる。
- ロータリーでは、人種差別、同性愛やトランスジェンダーへの嫌悪、性差別、階級差別、年齢による差別は一切認められない。私たちは、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認に基づくバイアス（偏った考え方）、差別、偏見、ヘイト（憎悪）を促進する言動をロータリーが容認しないという共通の立場を取る。
- 多様性、公平さ、インクルージョンについて詳しい地元の専門家を例会に招き、話してもらう。多様性、公平さ、インクルージョンを高める活動を支援している地元の団体とつながり、プロジェクトやイベントを共同で行う。
- 少数派グループの現在の参加者がクラブや地区で指導者の役割を引き受けるように奨励し、支援する。ラーニングセンターから DEI に関する以下のコースを受講して知識を深める。
 - [クラブ会員基盤の多様化](#)
 - [The Power of Connection with Diverse Communities](#)（多様性ある地域社会とのつながることの力）。
 - [多様性・公平さ・インクルージョンへの取り組み](#)
 - [無意識のバイアス](#)
 - [Design an Inclusive Plan for Your Organization](#)（組織の開放性計画を立案する）。
 - [ハラスメントの防止と対処法](#)
- 諮問委員会を設置して、地域社会の多様な関係者を招いて検討する。重要なニーズを特定し、効果的に協力する方法を見出すことができる。

ロータリーの「多様性、公平さ、インクルージョン(包摂)の声明」を理事会が検討・強化

<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/about-rotary/diversity-equity-and-inclusion>

RI 理事会は 6 月の会合にて、DEI タスクフォースからの指針に基づき、ロータリーが採択した 2019 年の DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) 声明の見直しと強化を行い、ロータリーが組織として多様性、公平さ、インクルージョン (包摂) の原則を尊重し、実践するためのさらなるステップを取りました。その結果として新たな「多様性・公平さ・インクルージョン (包摂) へのコミットメント」が下記の通り採択されました：

「ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ (包摂的) な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持つようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI (多様性、公平さ、インクルージョン) にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。」

理事会は、2020 年に「多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) タスクフォース」を招集し、ロータリーにおける DEI の現状を調査して達成可能・測定可能な意義ある結果をもたらす包括的な行動計画を作成する任務を与えました。この計画は現在作成中であり、2021 年 10 月に理事会に提示されます。

また、理事会は以下の点にも同意しました：

- 次期・現・元 RI 役員に DEI 研修を提供する
- ロータリー行動規範を推進する

- 行動規範に対する違反を報告する手続きを設ける

上記の決定および DEI に関する継続的な取り組みに関するこのほかの情報は、今後数週間以内に rotary.org/dei に掲載される予定です。

理事会はこの1年間、ロータリーでの体験をより公平で、開放的で、歓迎的なものとするために取り組んできたタスクフォースに感謝の意を表しています。タスクフォースによる取り組みは、ロータリーの長期的な成功にとって極めて重要となります。DEI タスクフォースによる取り組みは、理事会によって 2023 年 6 月まで延長されました。ロータリーの DEI 声明に違反する言動を目にしたり、体験したりした方は、DEI.Inquiries@rotary.org までご連絡ください。

23-Jun-2021

■ロータリー章典（2021年1月版）

26.130. 国際ロータリーの多様性、公平さ、包摂（性）に関する方針

ロータリーは、持続可能な変化を生むために人びとが手を取りあって行動する世界を目指すグローバルネットワークとして、多様性を重んじ、年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、性自認にかかわらず、あらゆる背景をもつ人の貢献を称える。

ロータリーは、少数派グループが会員およびリーダーとして参加できる機会が多く存在する多様で、公平で、開放的な文化を育む（2019年4月理事会会合、決定134号）。

出典：2019年1月理事会会合、決定81号

（参照）

26.120. 会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境

ロータリーは、ハラスメントのない環境を維持することに力を注いでいる。ハラスメントとは大まかに定義すると、個人またはグループを、あらゆる特性（年齢、民族、人種、肌の色、能力、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認）に基づいて、言葉であれ身体的であれ、中傷、侮辱、または攻撃する言動を指す。

すべての会員およびロータリーの会合、行事、または活動に出席または参加する個人は、ハラスメントのない環境を期待すべきであり、安全、礼儀、品格、およびすべての人への尊敬を促す環境を維持するよう援助するものとする。青少年と接する成人は、ロータリー章典第 2.120.節に概説されている方針の対象となる。

犯罪行為の申し立てはすべて地元の管轄の警察署に伝えるべきである。

クラブ理事会、地区、またはゾーンのリーダーは、ハラスメントの申し立てに迅速に対応するものとし、申し立てを行った者に対する報復をしてはならない。

クラブのレベルでは、ロータリーの行事または活動におけるハラスメントの申し立ては、クラブ理事会によって審査し、妥当な期間（通常は1カ月）内に回答するものとする。違反の申し立ての対象者がクラブ理事会のメンバーである場合は、自ら審査から外れることが期待される。審査および／または捜査は、行為の深刻度および広汎性を含む状況に応じて異なるものとする。ハラスメントの申し立てがクラブによって適切に対応されなかったという懸念は、該当する書類を用いて地区ガバナーに伝えることができる。

地区のレベルでは、ロータリーの行事または活動におけるハラスメントの申し立ては、ガバナーまたはこの件のためにガバナーに任命された委員会によって審査し、妥当な期間（通常は1カ月）内に回答するものとする。地区ガバナーが違反の申し立ての対象者である場合は、直前ガバナー（または直近の過去ガバナー）が直接、または本件に関する委員会を任命することにより、申し立てを審査して回答するものとする。地区ガバナー、ガバナーエレクト、およびガバナーノミニーによるハラスメントの申し立ては、すべて2週間以内に事務総長に通知するものとする。審査および／または捜査は、行為の深刻度および広汎性を含む状況に応じて異なるものとする。ハラスメントの申し立てが地区によって適切に対応されなかったという懸念は、該当する書類を用いてRI理事に伝えることができる。

ガバナー、ガバナー補佐、委員会委員長を含む地区リーダーは、ハラスメントのない環境を作るためにクラブと協力するよう奨励されている。地区リーダーはまた、行動規範を設

定し、クラブ内、会員同士、およびロータリーのほかの参加者に対するハラスメントの対処と予防の方針を確立するためにクラブと協力すべきである。

ゾーンのレベルでは、ロータリーの会合、行事または活動におけるハラスメントの申し立ては、RI理事またはこの件のためにRI理事に任命された委員会によって審査し、妥当な期間（通常は1カ月）内に回答するものとする。違反の申し立ての対象者がRI理事である場合は、RI会長が任命する別の現または元RI理事が申し立てを審査して回答するものとする。

RI理事、理事エレクト、および理事ノミニニーによるハラスメントの申し立ては、すべて2週間以内にRI会長に通知するものとする。ハラスメントの申し立てがゾーンによって適切に対応されなかったという懸念は、該当する書類を用いてRI理事に伝えることができる。ロータリアン行動グループおよびロータリー親睦活動に関して、ロータリアン行動グループおよびロータリー親睦活動のリーダーは、ハラスメントの申し立てに迅速に対応するものとし、申し立てを行った者に対する報復をしてはならない。行動グループまたは親睦活動の行事または活動におけるハラスメントの申し立ては、行動グループまたは親睦活動、あるいは行動グループまたは親睦活動の委員長により任命された委員会によって審査し、妥当な期間（通常は1カ月）内に回答するものとする。行動グループまたは親睦活動の委員長またはその他のリーダーが違反の申し立ての対象者である場合は、直前委員長（または直近の委員長）が直接、または本件に関する委員会を任命することにより、申し立てを審査して回答するものとする。違反の申し立ての対象者が行動グループまたは親睦活動の理事会のメンバーである場合は、自ら審査から外れることが期待される。審査および／または捜査は、行為の深刻度および広汎性を含む状況に応じて異なるものとする。ハラスメントの申し立てが行動グループまたは親睦活動によって適切に対応されなかったという懸念は、該当する書類を用いてRI理事に伝えることができる。

クラブ、地区、およびゾーンのリーダーは、深刻かつ広範囲におよぶハラスメントならびにその結果生じた会員身分の終結について事務総長に報告しなければならない。クラブまたは地区がハラスメントの調査結果への適切な対応を怠った場合、RI理事は適切な措置を求めてRI理事会に通知するものとする。そのような措置には、クラブの終結またはその他の適切な制裁が含まれる可能性がある。

ロータリアン行動グループおよびロータリー親睦活動は、ハラスメントの申し立てを申し立ての対象者のクラブ会長および地区ガバナーに報告しなければならない。ロータリアン行動グループおよびロータリー親睦活動がハラスメントの調査結果への適切な対応を怠った場合、RI会長は適切な措置を求めてRI理事会に通知するものとする。そのような措置には、グループの終結またはその他の適切な制裁が含まれる可能性がある（2020年4月理事会会合、決定132号）。

出典：2019年1月理事会会合、決定119号。2019年10月理事会会合、決定48号、2020年4月理事会会合、決定132号により改正

26.120.1. 成人のハラスメント方針に関する研修

現職と次期クラブ会長、ガバナー、地域リーダー、理事は、RIの成人ハラスメント方針と手続について年次研修を受けるものとする。この研修は会長エレクト研修セミナー（PETS）や国際協議会など（ただしこれらに限定されない）行事において実施する

(2020年1月理事会会合、決定85号)。

出典：2019年10月理事会会合、決定34号。2020年1月理事会会合、決定85号により改正

■ロータリー財団章典(2021年1月版)

31.010.2.6. 地域社会の経済発展

ロータリーは、貧困地域や十分な支援が得られない地域で測定可能かつ長期的な経済発展を創出し、人びとと地域社会が貧困を緩和していけるよう支援する。

I. この重点分野の目的と目標

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような活動によって貧困を緩和するのを支援する。

1. 貧困地域の経済発展を促すための、地元のリーダー、団体、およびネットワークの能力の向上
2. 生産性の高い仕事の創出と、持続可能な生計手段へのアクセス改善
3. 経済的な機会と公共サービスへのアクセスを提供することによる、周縁化された地域社会のエンパワメント
4. 起業家、ソーシャルビジネス、地域的に支持されているビジネスイノベーターの能力向上
5. 生産的な仕事への就職および市場・財務サービスの利用を妨げる、性別や社会的身分に基づく不平等への取り組み
6. より持続可能で経済回復力が高い地域社会を創出するための、再生可能なエネルギーと省エネ手段へのアクセス向上
7. 経済的利益のための環境・天然資源保全のスキルを養成するための地域社会のエンパワメント
8. 環境・気候関連のリスクや自然災害に対する地域社会の回復力と適応力の強化
9. 経済回復力を改善するため、地域社会を基盤とする緊急時の基本的な備えのサービス体制の発展と支援
10. 地域社会の経済発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援

II. 受領資格の判断基準

ロータリー財団は、以下の活動を、重点分野「地域社会の経済発展」の範囲内にある活動とみなす。

1. 貧困の課題がある地域社会への、金融サービス（マイクロクレジット、モバイル・バンキング、貯蓄、保険を含む）へのアクセスの提供
2. 地域社会の経済発展に関連する研修（起業、地域社会でのリーダーシップ、職業スキル、金融知識を含む）の提供
3. リーダーシップ研修とエンパワメント用ツール、特に女性、難民、若い成人のためのイニシアチブを通じた、地域社会関係者の経済発展と雇用促進
4. 貧しい人々のための小事業／協同組合／社会事業の開発および収入をもたらす活動（雇用を創出する村全体の事業の実施を含む）の支援

5. 自給自足農家や小農家のための農業開発（能力向上、および市場と資本へのアクセス促進を含む）の促進
6. 地域社会が主導または調整する Adopt-a-village（村全体の自立支援）活動、もしくは総合的な地域社会の開発活動の編成
7. 女性、難民、その他の周縁化された人びとのための公平かつ効果的な経済的機会の支援
8. 持続可能で革新的、かつ地元で購入したテクノロジーを利用した、再生可能で効率的なクリーンエネルギーへのアクセス、ならびに経済的成果を直接的にもたらす実質的な研修の提供
9. 経済的利益と成長のための天然資源を地域社会が保存、保護、および持続可能な方法で利用できるようにするための、保全と資源管理に関する研修の提供
10. 能力構築を通じた環境・気候変動に対する地域社会の適応力の向上、および持続可能な経済活動の開発
11. 火災防止や自然災害対策を含む、緊急時の基本的備えを固める取り組みを支援し、地域社会の経済的困難からの回復力を向上するための研修および基本的リソースの提供

ロータリー財団は、以下の活動を、重点分野「地域社会の経済発展」の範囲外にある活動とみなし、グローバル補助金の受領資格がないものとみなす。

1. 直接的な経済的成果がない、または運営・維持計画がない地域インフラまたは機器を提供するプロジェクト。
2. 講演や遊び場などの地域美化プロジェクト。
3. コミュニティーセンターの修復プロジェクト。

人道的プロジェクトと職業研修チーム（VTT）を成功させるための要素

重点分野「地域社会の経済発展」のグローバル補助金：

1. 持続可能性：ロータリークラブまたは地区が活動を終了した後も、地域社会が地域社会の経済発展の活動を継続できること。
2. 測定可能性：提唱者は、目標を設定し、プロジェクトの成果を記録するための方法を特定すること。標準的な測定方法は、「グローバル補助金：モニタリングと評価の計画について」を参照のこと。
3. 地域社会が主導：実施地となる地域社会によって特定されたニーズに取り組むプロジェクトであること。

奨学金を成功させるための要素

グローバル補助金は、地域社会の経済発展の分野における仕事で活躍していくことに関心がある専門職業人のための大学院レベルの奨学金を支援する。ロータリー財団は、グローバル補助金による奨学金の申請書を審査する際、以下の点を考慮する。

1. 地域社会の経済発展の分野における申請者のそれまでの職歴・活動歴。申請者は、自分の仕事が貧困、低収入、または不十分な支援などの問題がある地元、地域、または国の人々の経済的福祉にどのように貢献したかを明確に示すことが求められます。

2. 地域社会の経済発展に沿った履修課程。
- a. 例：地域社会の経済発展に焦点を当てた社会科学のコース、ソーシャルビジネス、小規模の起業、マイクロクレジット（小口融資）を専門とする経営学位。
 - b. 以下のような履修課程は、審査の際に有利となる。
 - i. 地元、地域、または国の経済発展戦略を強調したもの
 - ii. 貧困、低収入、または十分な支援が得られない地域社会などの経済問題に焦点を当てたもの
 - iii. ソーシャルビジネスの開発を支援するもの（経営学修士課程における特別履修コースなど）
 - iv. 地元、地域、または国レベルでの起業スキルや事業立ち上げについて教えるビジネス学位を提供するもの
 - v. 課程名やコース名に「地域社会の開発（community development）」という言葉を含むもの
 - vi. 小規模の事業者や起業家に助言を提供する取り組みを改善するもの
 - vii. 貧困、低収入、十分な支援が得られない地域社会に影響を及ぼしている環境問題に取り組むための戦略に焦点を当てたもの（例：リソース管理、環境・保全研究、レジリエンス計画、緊急時への備え）
 - viii. 経済発展戦略を導く都市計画原則を使用したもの
 - c. 下のような履修課程は、審査の際に有利とはみなされない。
 - i. 純粋に理論のみのマクロ経済学、政治学、または金融学
 - ii. ソーシャルビジネスとは関係ない事業運営に関する経営学修士課程（MBA）など、一般的な民間ビジネスの発展を扱うもの
3. 地域社会の経済発展に関連した、申請者の将来のキャリア計画。
- a. 以下の要素を含むキャリアは、審査の際に有利となる。
 - i. 地域または国レベルで、貧困、低収入、十分な支援が得られない地域社会における社会・経済的福祉の改善
 - ii. 非営利もしくは社会的事業におけるキャリア
 - iii. 貧困地域、若者、女性、先住民、難民、その他の十分な支援が得られない地域の人びとなどの経済・社会的福利のためのアドボカシー支援
 - iv. リソース管理、環境・保全研究、レジリエンス計画、緊急時への備えを含む戦略を通じた、貧困、低収入、十分な支援が得られない地域社会に影響を及ぼしている環境問題への取り組み
 - b. 審査の際に有利とはみなされないキャリアとして、ビジネス、エンジニアリング、またはソーシャルワークにおける一般的な役割、あるいは、民間環境・企業環境における一般運営が含まれる。
4. 多様性、公平性、包摂性（DEI）を促進する手段として申請者のバックグラウンド
- a. ロータリー財団は、重点分野の地域社会の経済発展（CED）の使命と影響について、多様性、公平性、包摂性（DEI）は重要な価値観であると信じている。その理由のため、地域社会の経済発展（CED）の重点分野内ですでに適格となっている研究分野に関係

するような DEI 原則の適用は、分野の研究に選ばれる申請者への明確な追加（条件）と見なされる。既存の（現存する）適格な研究分野において、多様性、公平性、包摂性（DEI）を促進するバックグラウンドを持った志願者は前向きに検討される。

b. DEI は CED のもとで、適格性を裏付けるべき申請者の関連した経験や研究の学問的プログラム（学位課程）あるいはキャリアの目標を取り替える資格基準として利用することはできない。

ロータリー財団は次のように定義する。

i. 多様性：

基準として、人種、肌の色、民族性、国籍、宗教、社会経済的な状況、軍役経験の有無、言語、年齢、性別、性表現、性同一性、性的指向、知能あるいは身体能力、遺伝情報、申請者の国や地域社会が使用する学習法を含むが、それに限らない。

ii. 公平性

あるグループの全員参加を阻止する障害を確認し、取り除く努力すると同時に、すべての人が公正な対応、アクセス、機会、および昇進を保証すること。

公平性の原則は、歴史的に十分なサービスが与えられず、軽んじられた人びとがいること、そして、これらの不均衡な状況における公平性は、すべてのグループへの効果的な機会の提供の平等性を支援する必要があることに同意する。

iii. 包摂性（インクルージョン）

伝統的に除外された（排除された）個人および／あるいはグループに対して、力を分かち合い（共存し）、機会とリソースに対する公平なアクセスを確保する方法で、プロセス、活動および政策決定／方針決定を確実にもたらすこと。

出典：2012年3月、管理委員会会合、第121号、2012年6月、管理委員会会合、第167号、2014年4月、管理委員会会合、第98号、2016年4月、管理委員会会合、第117号、2019年4月、管理委員会会合、第116号、2020年11月、管理委員会会合、第56号により改正

(英文)財団章典（2021年1月版）改正点 **赤字部分が追加改正**

31.010.2.6. Community Economic Development

Rotary supports investments in people and communities to alleviate poverty, creating measurable and enduring economic improvements in poor and underserved areas.

I. Area of Focus Statement of Purpose and Goals

TRF enables Rotarians to alleviate poverty by:

1. Building the capacity of local leaders, organizations, and networks to support economic development in poor communities
2. Developing opportunities for productive work and improving access to sustainable livelihoods
3. Empowering marginalized communities by providing access to economic opportunities and services
4. Building the capacity of entrepreneurs, social businesses, and locally supported business innovators
5. Addressing gender or class disparities that prevent populations from obtaining productive work and accessing markets and financial services
6. Increasing access to renewable energy and energy-efficiency measures to create more sustainable and economically resilient communities
7. Empowering communities to develop environmental and natural resource conservation skills for economic gain
8. Strengthening communities' economic resilience and adaptive capacity in response to environmental and climate-related hazards and natural disasters
9. Developing and supporting community-based basic emergency preparedness services to improve

economic resilience

10. Funding graduate scholarships for career-minded professionals related to community economic development

II. Parameters for Eligibility

TRF considers the following activities to be within the scope of the community economic development area of focus:

1. Providing poor communities with access to financial services including microcredit, mobile banking, savings, and insurance
2. Offering training related to community economic development, including entrepreneurship, community leadership, vocational skills, and financial literacy
3. Developing community members' economic and employment potential through leadership training and empowerment tools, especially through initiatives for women, refugees, and young adults
4. Supporting small-business, cooperative, or social-enterprise development and income-generating activities for the poor, including organizing area-wide businesses that provide employment
5. Furthering agricultural development for subsistence and small farmers, including building capacity and facilitating access to financial markets and capital
6. Organizing community-led and -coordinated adopt-a-village initiatives, or comprehensive community development activities
7. Supporting equal and effective economic opportunities for women, refugees, and other marginalized populations
8. Providing access to renewable, clean and efficient energy through sustainable, locally purchased, and innovative technology, as well as substantial training directly connected to economic outcomes
9. Training communities in conservation and resource management to help them preserve, protect, and sustainably use natural resources for their economic benefit and growth
10. Improving communities' ability to adapt to environmental and climatic changes through capacity-building, and developing sustainable economic activities
11. Providing training and basic resources to support basic emergency preparedness initiatives and enhance communities' economic resilience, including fire prevention and natural disaster preparedness

TRF considers the following activities to be outside the scope of the community economic development area of focus and not eligible for global grant funding:

1. Community infrastructure or equipment projects without direct economic results, or without operational and maintenance plans
2. Community beautification projects such as parks and playgrounds
3. Projects to rehabilitate community centers

Elements of Successful Humanitarian Projects and Vocational Training Teams

Community economic development global grants are:

1. Sustainable — Communities can address their economic development needs after the Rotary club or district completes its work.
2. Measurable — Sponsors need to set targets and identify measurements to track project outcomes. Standard measures are listed in the Global Grant Monitoring and Evaluation Plan Supplement.
3. Community driven — Projects meet the needs identified by the host community.

Elements of Successful Scholarships

Global grants support graduate-level scholarships for professionals interested in pursuing careers in community economic development. TRF considers the following when evaluating global grant scholarship applications:

1. The applicant's previous work experience in the field of community economic development.
Applicants are expected to demonstrate how their work contributed to the economic well-being of poor, low-income, or underserved communities at the local, regional, or national level.
2. The academic program's alignment with community economic development
 - a. Examples include social science degrees with a focus on community economic development and business degrees tailored to social business, micro-entrepreneurship, or microcredit
 - b. Programs that will be favorably considered include those that:
 - i. Emphasize local, regional, or national economic development strategies
 - ii. Focus on addressing economic issues of poor, low-income, and underserved communities
 - iii. Support social business development, such as a specialized track within a master of business administration program

- iv. Provide a business degree to teach entrepreneurial skills or support startups at the local, regional, or national level
- v. Include “community development” in the name of the program or specialized track
- vi. Improve the coaching or advising capability of an individual working with small businesses or entrepreneurs
- vii. Focus on strategies to address environmental issues that affect poor, low-income, and underserved communities, such as resource management, environmental and conservation studies, resilience planning, and preparedness
- viii. Use urban planning principles to guide economic development strategies
- c. Programs that will not be favorably considered include those that:
 - i. Focus on purely theoretical, macro-level economics, politics, or finance
 - ii. Support general private business development, such as a master of business administration for professions unrelated to social enterprise
- 3. The applicant’s career plans as they relate to community economic development
 - a. Careers that will be considered favorably include those that:
 - i. Improve the economic and social well-being of poor, low- income, and underserved communities at the local, regional, and national level
 - ii. Are in a nonprofit or social enterprise environment
 - iii. Support advocacy for economic and social well-being (e.g. for poor communities, youth, women, indigenous peoples, refugees, and other underserved populations)
 - iv. Address environmental issues that affect poor, low-income, and underserved communities through strategies including resource management, environmental and conservation studies, resilience planning, and preparedness
 - b. Careers that will not be considered favorably include general roles in business, engineering, or social work, or general administration in a private or corporate environment.
- 4. The applicant’s background as a way to promote Diversity, Equity and Inclusion (DEI).
 - a. The Rotary Foundation believes diversity, equity and inclusion (DEI) are important values for its mission and impact for Community Economic Development (CED) as an area of focus. For that reason, the application of DEI principles as they relate to fields of study already eligible within the CED area of focus would be viewed as a positive addition to the candidates chosen field of study. An applicant with a background that promotes diversity, equity and inclusion within existing eligible fields of study would be considered favorably.
 - b. DEI cannot be used as eligibility criteria to replace the applicant’s relevant experience, academic program of the study or career goals that should support eligibility under CED.
TRF defines:
 - i. **Diversity:** Includes but is not limited to race, color, ethnicity, nationality, religion, socioeconomic status, veteran status, education, marital status, language, age, gender, gender expression, gender identity, sexual orientation, mental or physical ability, genetic information, and learning styles using the country or the community of the applicant as a reference point.
 - ii. **Equity:** The guarantee of fair treatment, access, opportunity, and advancement for all while striving to identify and eliminate barriers that have prevented the full participation of some groups.
The principle of equity acknowledges that there are historically under-served and under-represented populations and that fairness regarding these unbalanced conditions is needed to assist equality in the provision of effective opportunities to all groups.
 - iii. **Inclusion:** Authentically bringing traditionally excluded individuals and/or groups into processes, activities, and decision/policy making in a way that shares power and ensures equal access to opportunities and resources.
(November 2020 Trustees Mtg., Dec. 56)

Source: March 2012 Trustees Mtg., Dec. 121; June 2012 Trustees Mtg., Dec. 167
 Amended by April 2014 Trustees Mtg., Dec. 98; April 2016 Trustees Mtg., Dec. 117; April 2019 Trustees Mtg., Dec. 116, November 2020 Trustees Mtg., Dec. 56